

◆現代沖縄型食・ライフスタイルがもたらす肥満症・二型糖尿病の克服を目指す新時代の内科学研究



本土に比べ 20年先行して欧米型生活習慣の洗礼を受けた沖縄県は 現在、全国屈指の肥満県、糖尿病県となり、壮年期の致命的血管イベントが急増しています(沖縄危機)。

内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座では、肥満症や糖尿病の新しい病態メカニズムを臓器関連の中で捉え、視床下部、脂肪組織、消化管、血管、膵臓、肝臓、骨格筋など 臓器相互のネットワークの破綻と機能異常のしくみを統合生理学、分子栄養学的アプローチによって解明しています。

新規の診断法、治療法、予防法の創造は 危機の現場である沖縄でこそ出来る独創的研究であり、近未来の日本危機、東アジア危機を救う 道標となることが期待されます。